第１学年１組　道徳科学習指導案

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 家庭や地域と連携した教科学習計画 | | |
| 月 | 教科 | 内　容 |
| ４  ５  ６  ７  ９  10  12  １  ２  ３ | 生活  生活  生活  道徳  生活  道徳  道徳  生活  生活  道徳  生活  国語  学活  道徳 | 「よろしくね」（６年生）  「たねまき」（６年生）  「学校探検」  ・学校ビンゴ（２年生）  ・サインを集めよう  　（教職員、全校児童）  「かぞくとおはなし」  Ｃ（13）家族愛、  　　　家庭生活の充実  「水鉄砲で遊ぼう」（６年生）  「とりかえっこ」  Ｃ（14）よりよい学校生活、集団生活の充実  「ありがとうがいっぱい」  Ｂ(7）感謝  「公園探検」「校外学習」  「あきのおみせやさん  　　　けいかく」（園児）  「これならできる」  Ｃ（13）  家族愛、家庭生活の充実  「かぞくはなかよし」  「小学校のことをしょう  　かいしよう」（園児）  「しん１年生たいけん入学」  「みんなみんな、ありが  　とう」Ｂ（７）感謝 |

１　主題名　がっこうでたのしく〔内容項目C－（１４）：よりよい学校生活、集団生活の充実〕

　　＜教材名　「とりかえっこ」＞出典：「きみがいちばんひかるとき道徳１年」光村図書

２　ねらいとする価値について

　　人はさまざまな集団や社会に属して生活している。児童にとって、学校や学級は、社会と自分を結びつける人間関係の基盤であり、集団活動や社会生活の基礎となっている。そこで、友達や上級生、教師など、さまざまな人々との関わりから学級や学校生活に目を向け、集団への所属意識や愛着を高める。そして、学校生活をより楽しくしようとする意欲や態度を育むようにすることが大切であると考える。

３　子供の姿

　　本学級の児童は、新しい環境の中でも様々なことに取り組み、休み時間には、楽しく友達や上級生と過ごす姿が見られる。一方で、６月に実施したやまびこアンケートでは、毎日の宿題や長い距離の登下校などから、学校に通うことに前向きになれない児童もいることが分かった。また、４月に比べて、小学校に対する期待や入学時の新鮮な気持ちの薄れや、小学校と園とのギャップを感じている姿がある。

４　教材と指導について

　　小学校が嫌になり幼稚園に戻った主人公のけんごは、「とりかえっこ」を通して、小学校生活のよさや楽しさに気付き、やはり小学校に行きたいと考えを変える。幼稚園に戻りたいと思うけんごの気持ちに共感しながらも、児童自身が今まで経験した小学校での楽しいことやできるようになったことなどについて振り返り、その上でけんごの気持ちの変化を捉える。「深める」の終末では、保育園の先生をゲストティーチャーに招くことで、成長した自分自身や、今後の学校生活を楽しくするためにできることについて考えるようにしたい。

５　地域と連携した学習

本校の隣には保育園があり、小学校の運動会や学習発表会の練習見学、園児向けのおもちゃまつりの開催など、１年を通して交流を行っている。また生活科を中心に、２年生や６年生といった上級生との交流を行い、１年間で成長した２年生や、学校を支えている６年生の姿を身近に感じさせることで、自分も学校の一員として頑張っていきたいという思いにつなげたい。本時では、登場人物と自分自身を重ね合わせ、今後の自分自身の成長や学校生活を楽しもうとすることについて考えられるようにする。

６　本時の学習

(１)本時のねらい

登場人物の気持ちの変化に目を向けることで、学校での生活を楽しくするためにできることについて考え、その実践意欲を高める。

(２)本時の流れ

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時間 | 児童の活動 | 〇伝え合うための工夫  ・その他の手立てや留意点 |
| つかむ（５） | １　１と２の漫画を見て、学校生活を振り返る。  ・登下校は大変だよね。  ・勉強や宿題も、毎日すごく大変。  ２　本時のめあてをつかむ。  がっこうでのせいかつを（　　　　　　　）かんがえよう | 〇小学校が大変という気持ちや経験を引き出すために、教科書の漫画をもとにクラス全体に投げかけて挙手を促す。　　（導入の工夫） |
| 深める（35） | ３　「とりかえっこ」（３～１９まで）を読んで、話し合う。  幼稚園へ行っているけんごは、小学校でどんな楽しいことを見つけたでしょう。    ・足し算が分かった。  ・休み時間に、みんなと一緒に遊んだ。  ・新しい友達ができた。  ・幼稚園の時とは違って、すごく進化した。  ４　続き（２０～２３）を読んで、話し合う。  「明日もとりかえっこしてくれる？」と聞かれて、けんごが「だめだよ。」と言ったのは、どうしてでしょう。  ・僕も友達やお兄さんと一緒に遊びたいから。  ・自分も進化したいから。  ・せっかく作った友達が、いなくなっちゃうから。  ・幼稚園のけんごくんも、友達がいなくなってしまわないか心配だから。  ・みんなでまたがんばりたいから。  ・学校が楽しくなるように、自分もがんばりたいから。 | ・話の内容や展開をいつでも振り返ることができるように、展開部分の漫画をホワイトボードに貼る。  ・幼稚園で「できることばかりで嬉しい」、小学校で「新しいこといっぱいで楽しい」の違いを明確にするために、「しんか」の意味を確認する。  〇児童の考えを具体的に引き出すために、幼稚園のけんご（教員）と小学校のけんご（児童）にわかれ、役割演技をし、意見交流をする。  　　　（話し合いを深める工夫）  ・これからの小学校生活で頑張っていきたいという子供たちの意欲を高めるために、保育園の先生をゲストティーチャーに呼び、子供たちの成長について話をしていただく。 |
| 振り返る（５） | ５　もっと学校生活を楽しくするために、やってみたいことについてワークシートに書き、発表する。  ・１組でだけでなく、１年生みんなで鬼ごっこをしてみたいな。  ・アサガオの次は、違う花や虫を育ててみたいね。  ・鍵盤ハーモニカが吹けるようになったから、みんなと一緒に吹いてみたいな。 | ・楽しい学校生活を具体的にイメージできるように、授業風景や校庭での活動の様子を写真で提示する。  ○友達の意見や授業の内容から、本時のめあてに「楽しくするためにできることを」が入ることを確認し、どんなことができるかを考えて振り返りを書く。　　（振り返りの視点） |